

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本医療器材工業会(JMED)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣が制定した日本工業規格である。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	1
4. 構成及び各部の名称	1
5. 要求事項	2
5.1 外径	2
5.2 引張強さ	2
5.3 外観及び清浄度	2
5.4 生物学的安全性	2
5.5 無菌性の保証	2
6. 包装	2
6.1 一次包装	2
6.2 二次包装	2
7. 表示	2
7.1 一次包装	2
7.2 二次包装	3
7.3 記号の使用	3

内視鏡用オーバチューブ

Sterile over tube for single use

1. 適用範囲 この規格は、体内への内視鏡の挿入を容易にするために、及び内視鏡治療の補助として使用する内視鏡用オーバチューブ（以下、オーバチューブという。）の要求事項について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

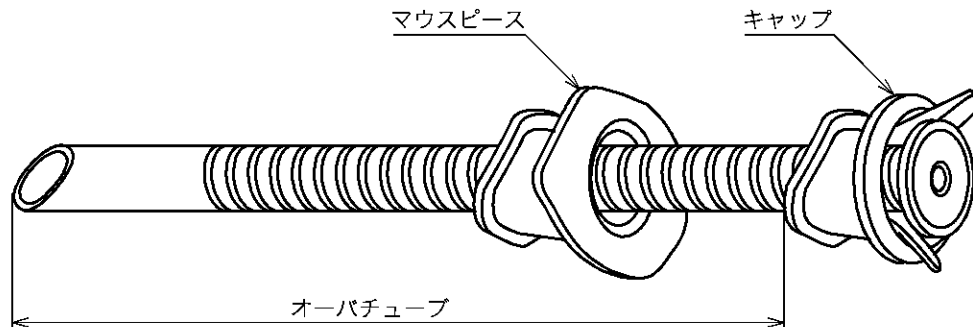
JIS T 0307 医療機器—医療機器のラベル、ラベリング及び供給される情報に用いる図記号

JIS T 0993-1 医療機器の生物学的評価—第1部：評価及び試験

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

- a) 内視鏡用オーバチューブ 内視鏡が通過する本体部分。
- b) キャップ オーバチューブの口側部分。グリップ又はファネルともいう。
- c) マウスピース 患者の口部に挿入し、固定する部分。

4. 構成及び各部の名称 一般的な内視鏡用オーバチューブの構成及び各部の名称を、図1に示す。ただし、図1は一般的な内視鏡用オーバチューブの構成及び各部の名称を図示した一例である。



- 備考1. マウスピースはないものもある。
 2. バルーンが付いているものもある。
 3. 側孔付きのものもある。
 4. 多くう（腔）式のものもある。
 5. 空気の逆流防止機構（弁又はバルーン）がキャップに付加されているものもある。

図 1 オーバチューブの構成及び各部名称（一例）

5. 要求事項

- 5.1 外径** オーバチューブの外径は、7.1 d)の表示値の±10 %以内とする。
- 5.2 引張強さ** オーバチューブに 9.8 N の張力を加えたとき、破断してはならない。
- 5.3 外観及び清浄度** 目視で検査したとき、きず、ばり又は異物の付着があってはならない。
- 5.4 生物学的安全性** JIS T 0993-1 に規定する生物学的安全性の評価を行う。
- 5.5 無菌性の保証** “滅菌済み”の旨を表示してあるものは、滅菌バリデーション基準又はこれと同等以上の基準に基づき、無菌性の担保を行う。

参考 滅菌バリデーション基準は、“医薬監第 1 号:平成 9 年 7 月 1 日、滅菌バリデーション基準について”による。

6. 包装

- 6.1 一次包装** 一次包装は、微生物の侵入を防止することができ、通常の手扱い、輸送及び保管中に内容製品に損傷のおそれがないように包装する。一次包装は、一度開封したら再シールできず、開封されたことが明確に分からなければならない。
- 6.2 二次包装** 二次包装は、通常の手扱い、輸送及び保管中に内容製品を保護できる強度をもつものとする。

7. 表示

- 7.1 一次包装** 一次包装には、次の事項を表示する。

- 製造販売業者の氏名又は名称、及び住所
- 医療機器の承認又は認証番号
- 販売名
- オーバチューブの外径 (mm) 及び長さ (mm 又は cm)。ただし、外径にミリメートル (mm) で示すほか、フレンチ (シャリエール) 又はゲージを参考で併記してもよい。

参考 フレンチ (シャリエール) は、F、Ch など で表記する。1 mm が 3 F (Ch) に相当し、1/3 mm 刻みで表記する。ゲージは、G など で表記する。

- e) 滅菌済みである場合は，“滅菌済み”の旨
- f) “再使用禁止”の旨（“ディスポーザブル”の表現を除く。）
- g) 製造番号又は製造記号⁽¹⁾
- h) 滅菌年月

注⁽¹⁾ 製造番号又は製造記号が滅菌年月を表している場合は，改めて滅菌年月の表示は必要としない。

また，滅菌年月の代わりに使用期限を表示してもよい。

7.2 二次包装 二次包装には，次の事項を表示する。ただし，二次包装を用いず，一次包装を最小販売単位の包装として用いる場合は，次の事項を一次包装に表示する。

- a) 製造販売業者の氏名又は名称，及び住所
- b) 医療機器の承認又は認証番号
- c) 販売名
- d) オーパチューブの外径（mm）及び長さ（mm 又は cm）。ただし，外径にミリメートル（mm）で示すほか，フレンチ（シャリエール）又はゲージを参考で併記してもよい。

参考 フレンチ（シャリエール）は，F，Chなどで表記する。1 mm が 3 F（Ch）に相当し，1/3 mm 刻みで表記する。ゲージは，Gなどで表記する。

- e) 数量（入り数）
- f) 滅菌済みである場合は，“滅菌済み”の旨
- g) “再使用禁止”の旨（“ディスポーザブル”の表現を除く。）
- h) 製造番号又は製造記号⁽¹⁾
- i) 滅菌年月

7.3 記号の使用 7.1 及び 7.2 の要件は，JIS T 0307 に規定する適切な記号を使用することによってこれに替えてもよい。

参考 JIS T 0307 に規定する主な記号の例を，参考表 1 に示す。

参考表 1 JIS T 0307 に規定する主な記号の例

滅菌済み	再使用禁止	製造番号又は製造記号	使用期限
STERILE		LOT	

